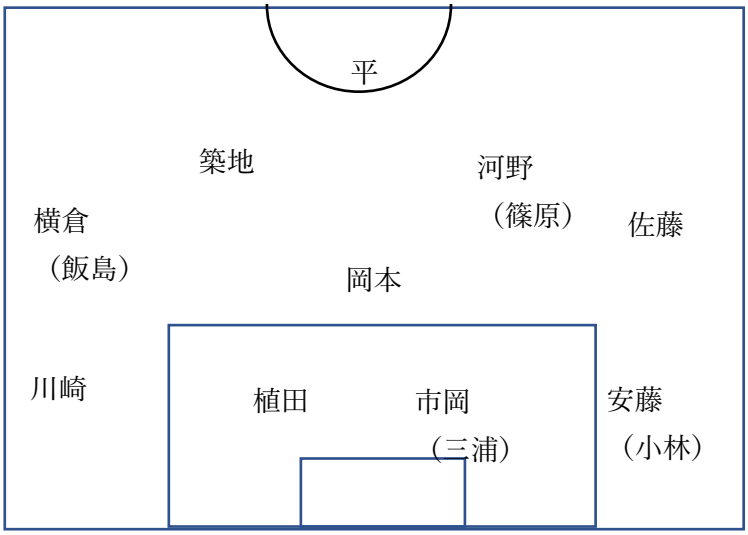
全国高校選手権愛知大会西尾張支部予選１回戦　　2021/8/29

対　杏和高校　　会場：杏和高校Ｇ

試合結果

丹羽　0　[0 － 1 / 0 － 4]　5　杏和



８月 29 日、猛暑の中、選手権一回戦が行われた。7 月 10 日以来の久々の公式戦であるが、高校サッカー界においては、高校総体予選に並ぶの２大大会の１つである。

丹羽は、この夏休み中に行われた数試合の練習試合の結果が良好で、希望をもって臨んだ一戦であったが結果は残念なものとなった。

試合前、監督から「不用意な失点を避けるため、開始から１０分間はシンプルに、ロングボールで相手 DF の裏を狙う。」という指示があった。ところが、いざ試合が始まってみると、ボールが足につかず、相手に押し込まれ、監督の指示を体現できない時間帯が続いた。そして、前半４分にピッチ中央での横パスを相手選手にカットされ、スルーパスによって相手 FW と GK が１対１の状況になり、失点を喫した。その後、前半の 36 分間は杏和優位の状況ではあるが、互いにチャンスとピンチを繰り返した。しかし、これまでの練習試合で見られた丹羽のパスワークはほとんど見られず、失点の焦りからか、意図のない中途半端なプレーが目立った。

後半、立ち上がり６分に、横倉が相手 DF の間から抜け出し、この試合初めてのシュートを放ったが惜しくもゴールポスト左にそれた。この日、最もゴールの可能性を感じさせる場面であったが、その直後、後半８に相手側右サイドのスローインから、相手選手のドリブルに対応できず、立て続けに丹羽の３選手が抜かれ、逆側のサイドネットに２点目を決められた。サッカーの試合において２点差は決して安全なリードではないが、残念ながら今回の一戦に関しては、この失点で勝敗は決したといえる。丹羽の選手は心身共に大きなダメージを受け、相手チームは、余裕をもって新しい戦力を投入し、追加点を重ね、合計５得点を挙げた。（文章　２年：田中　　監修　部長：若原）